

## I 総括的概要

2023年度の社会・経済環境に於ける大きな変化のひとつに、新型コロナウイルス感染症が5月によりやく感染症法上の「第5類」に移行したことが挙げられます。緊急事態宣言が解かれてパンデミックに対する恐怖感も軽減され、ゆっくりと着実にコロナ前の日常を取り戻していることが感じられました。

しかしながら、世界各地で今も継続する軍事衝突、紛争等の影響を受けて、物価高、円安が深刻化しており、経営環境への影響は年々厳しさを増しています。

当所では、2023年度を「変革への第一歩」と位置付け、1.イノベーションの創出・成長支援、2.持続的成長を見据えた地域振興、3.商工会議所機能の強化の3点を柱として事業活動を展開いたしました。

通年の小規模事業者支援施策として、「事業環境変化対応型支援事業（日本商工会議所委託事業）」や「相談機能強化補助金（兵庫県）」の活用による専門家招聘で商工会議所機能を強化し、より高度で複雑な課題解決に努めました。

8月には、正副会頭、委員長、部会・部・支部長が一堂に会し、それぞれの立場で商工会議所運営や兵庫県政・宝塚市政に対する要望・意見交換の機会を設けました。非常に建設的で貴重なご意見を多く頂戴することが出来、これら意見を整理・集約の上、県政・市政への要望活動をはじめ、種々事業活動に活かすことができました。

秋には、各種補助金を活用したイベント事業や地域イベントの側面的支援を通じてまちのにぎわいを創出し、地域振興にも寄与しました。

12月には、会員企業相互の親睦を深めるための新たな取り組みとして、会員誰もが参加できる「会員大交流会」を初開催し、リラックスした雰囲気の中で会員間のフランクな意見交換や懇親が深められ大盛況でした。

これら新たな試みや成果は、まだ芽吹き始めたばかりですが、今後はこれらを継続し充実させることで、着実な「変革」に結び付けたいと考えています。

2023年度の事業活動の詳細については、以下の通り報告いたします。